長崎川棚医療センター広報誌









vol. **S** ()

『さわやかな笑顔と思いやりの心で、安心、安全な満足される医療をめざします』 そのために、患者さんは言うまでもなく全職員ひとり一人を大切にします。

●ようきけんとは「病む人の病のみならず心をも癒すことの出来るところ」という意味です。



新年明けましておめでとうございます。

今年も、職員の皆さん、そしてご家族にとって素晴らしい年であることをお祈りいたします。昨年暮れからお正月にかけて、救急患者さんや入院中の患者さんの治療、検査、看護にお忙しかった方も多かったことと思います。ご苦労様でした。感謝申し上げます。

さて、昨年は初頭から、全世界がコロナ禍に見舞われました。 残念ながら未だ収束に至っておりません。ワクチンが開発されま したが、効果は未知数であり、効果的な治療法も開発されてい ません。世界中の医療機関はこの未知数のウイルスと戦い続け ています。

長崎川棚医療センターも昨年2月から、『発熱・風邪症状外来』を病棟および外来棟とは別棟に設け、診療を行ってまいりました。病棟においては、発熱や風邪症状を認める患者さんは全員、コロナ感染を否定させてもらうために、PCR検査を行い、検査結果が判明するまでは他疾患の患者さんが入院している病棟とは違う病棟で診療させていただいています。さらに、患者さん、ご家族の皆さんには、ご不便をおかけしていますが、不急の面会は禁止させていただいています。玄関では検温も実施して、院内感染が発生しないよう万全の態勢をとらせていただいています。さらに昨年は、大雨災害、大型台風10号と自然災害も目白

押しで例年にもまして大変な一年でした。2021年はこれらの災 厄を乗り越え、素晴らしい一年であることを願うばかりです。

さて、2021年の長崎川棚医療センターの目標・スローガンは、 引き続き『地域の皆さんに信頼される病院となろう!!』です。こ のことは、地味で当たり前のようで、簡単なようで、実は大変難 しく地域医療を担う施設が到達するべき理想であり、最高峰 です。『さわやかな笑顔と思いやりの心で、安心、安全な満足 される医療をめざします。そのために、患者さんは言うまでも なく全職員ひとり一人を大切にします。』という当院の理念のも と、『地域の皆さんに信頼される病院』となるべく、皆さん一丸 となって頑張っていきましょう。そのためにも、東彼地区の医 療機関は勿論のこと、長崎医療センター、嬉野医療センター、 佐世保市総合医療センター、佐世保中央病院、長崎労災病院 などと今まで以上に連携を密にし、地域医療に貢献していか なければなりません。

"With Corona"の下とはいえ、皆さんにとって2021年が昨年以上に素晴らしい一年であることを祈り、年頭のご挨拶といたします。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。 <

診療科紹介(循環器内科)

循環器内科部長 二宮 暁代

高血圧症、虚血性心疾患、心不全、不整脈、肺血栓 塞栓症など、循環器の疾患全般に対応しています。

検査としては、運動負荷心電図、長時間心電図 (ホルター心電図)、心臓超音波検査 (心エコー)、心臓MRI などを行っています。さらに、カテーテル検査、ペースメーカー挿入などの特殊な検査・治療も積極的に行っています。2020年8月より心臓リハビリを開始しました。

2015年4月より循環器内科医1人体制となり、急性心筋梗塞やPCIの対応はできなくなっていますが、地域に根差し、患者さんのニーズに即した治療を心がけていますので、お気軽に受診ください。



Topics [トピックス]

部署紹介(総合情報管理室)

総合情報管理室長 宮崎 哲彦

総合情報管理室は、病院と患者さんを裏で支える各種システムの管理や診療データの入出力、グループウェア、各種ネットワークの管理などを行っている部署です。

電子カルテなどの病院情報システムは、24時間365日 停止することなく動き続けており、そこに蓄積される 様々な情報は非常に重要なものですので、機器の故障 や情報漏洩等が発生しないよう日々の点検や可搬記録 媒体の管理、職員教育等も行っています。

また病院の広報にも携わっており、院外の皆さんに 当院の情報を発信するために、ホームページや広報誌 の作成・管理も行っています。

患者さんやご家族に直接接する機会はありませんが、 院内のICT環境整備・管理のみならず、様々な分野で 影ながら病院の土台を支えることで、ひいては皆さんの お役に立てるよう今後も尽力してまいります。



- Information Management -

編集後記

副臨床検査技師長 若松 朋大

新年明けましておめでとうございます。今年のお正月 はいかがお過ごしだったでしょうか。

昨年は新型コロナウイルスの影響で日常生活も大きく 変わり、我慢の多い一年だったことと思います。今年 は明るい話題の多い一年になればと切に願います。 感染対策はもちろんですが、免疫アップのためにも自 粛生活の中に楽しみを見つけて、笑って過ごせていけ ればと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。